



Calsonic Kansei

Driven by Inspiration and Innovation

第114期 中間報告書

平成26年4月1日 ▶ 平成26年9月30日

株主の皆さまへ



株主の皆さまには、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
当社第114期上半期の概況についてご報告申し上げます。

■当社を取り巻く情勢と業績

本年度上半期の世界経済は、欧州経済の後退リスクや中国の経済成長の伸び率鈍化など不安定要素が存在する一方で、米国の景気は引き続き堅調に推移しました。また、わが国経済は、消費増税に伴う駆け込み需要の反動などにより、景気回復の鈍さが見受けられました。

主要地域の新車販売台数は、米国では前年度実績を上回り、欧州では過去最低水準から持ち直しの兆しが見え始めました。また、中国では販売拡大テンポの鈍化により昨年度の伸び率を下回り、タイでは政局の混乱によって落ち込みが続いています。そして、日本では消費増税前の駆け込み需要の反動もあり、前年同期を下回りました。

こうした状況のもと、当社グループの上半期の連結売上高は4,559億円、連結営業利益は117億2千万円となり、前年同期と比較して増収増益となりました。

■競争力強化に向けた取り組み

新車の生産台数が日本国内で伸び悩む一方、米国やアジアなど海外地域で伸びを示す傾向が一層顕著になっていることから、当社としても、これまでの収益構造を変革し、海外で安定して事業を継続できる構造を構築すべく、諸施策に取り組んでおります。

米国においては、過去の新車同時立上げにより収益が圧迫された経験を踏まえ、ものづくりの原点に戻って改善活動を進めております。その結果、今期は生産台数の増加に伴って収益性が大きく向上しており、グローバルでの収益確保を米国が牽引する形となっております。また、新興国においても、ロシアやブラジルなどでコックピットモジュールの生産が本格化したことに加え、

本年9月にはインドでカーエアコン用コンプレッサーの生産を開始するなど、ビジネスの拡大に対応した基盤整備を進めてまいりました。

当社は、中期経営計画である『CK G×4 T10』のなかで10以上の環境対応型の新技术・新製品の投入を計画し、「Great Company」として世界トップレベルのサプライヤーとなることをめざしております。既に、射出成形表皮を用いたインストルメントパネルを中国やメキシコなどで生産し、グローバル車種に採用されています。この射出成型技術は自動車技術会より本年度の技術開発賞を受賞しました。この他、世界最小・最軽量のガソリンエンジン用EGRクーラーの日系自動車メーカー向け納入、リチウムイオン電池冷却用ブラシレスモーターの実用化など、すでに新製品が当社の収益拡大に大きく貢献をしております。今後、さらに製品投入のスピードを加速し、競争力強化を実現してまいります。

なお、当期の中間配当金につきましては、前期末と同様、1株につき3円75銭とし、そのお支払いを12月1日からとさせていただきます。

株主の皆さまにおかれましては、今後ともより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



取締役社長

森谷 弘史

上半期の業績 (連結)

売上高

(単位：億円)



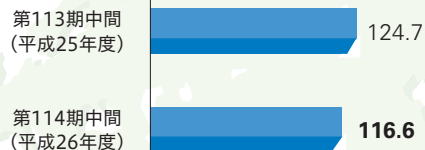
営業利益

(単位：億円)



経常利益

(単位：億円)



四半期純利益

(単位：億円)

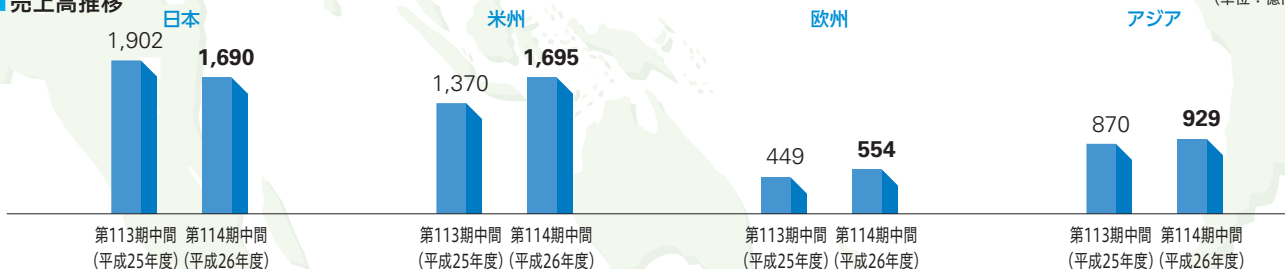


(注) 会計制度の変更により前年度の数字は遡及して修正しております

地域別状況

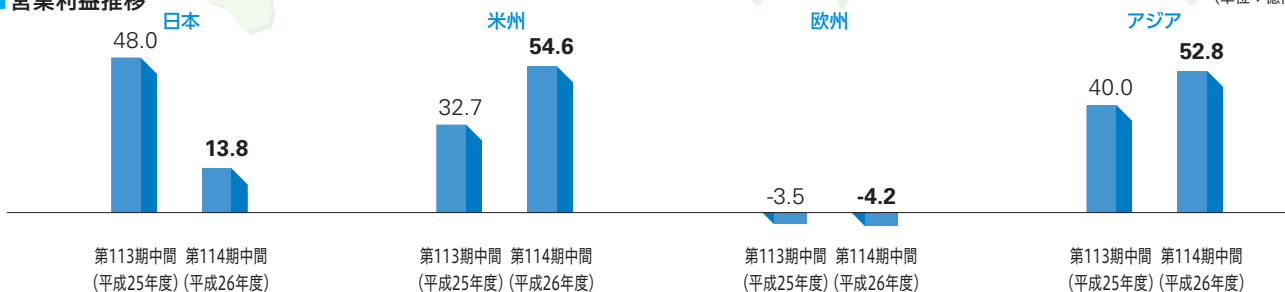
売上高推移

(単位：億円)



営業利益推移

(単位：億円)



連結貸借対照表 (要旨)



(単位：百万円)

科目	前期末	当第2四半期
資産の部		
流動資産	267,559	267,139
固定資産	160,204	155,071
有形固定資産	139,968	134,183
無形固定資産	5,104	5,263
投資その他の資産	15,131	15,623
資産合計	427,764	422,211
負債の部		
流動負債	222,207	208,152
固定負債	27,340	26,146
負債合計	249,548	234,299
純資産の部		
株主資本	177,645	187,310
その他の包括利益累計額	△12,438	△11,465
少数株主持分	13,009	12,065
純資産合計	178,216	187,911
負債・純資産合計	427,764	422,211

(注) 記載金額については、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書 (要旨)



(単位：百万円)

科目	前第2四半期	当第2四半期
売上高	428,956	455,933
売上原価	394,057	420,447
売上総利益	34,899	35,486
営業利益	11,427	11,721
営業外収益	3,110	1,572
営業外費用	2,064	1,630
経常利益	12,473	11,663
特別利益	37	39
特別損失	472	126
税金等調整前四半期純利益	12,038	11,576
少数株主損益調整前四半期純利益	7,638	8,765
四半期純利益	7,663	8,664

(注) 記載金額については、百万円未満を切り捨てて表示しております。

Topics

■ 「人とくるまのテクノロジー展2014」 に出展

5月に横浜で開催された「人とくるまのテクノロジー展2014」に今年も出展しました。今回は「Green& Comfort 環境と快適を両立します」をテーマに、当社の最新技術を紹介しました。また、主催者による来場者アンケート“貴方が選ぶ「自技展ベスト30」”において、当社は最も印象に残った出展企業の第9位にランクインしました。

右の写真は、運転しやすいコックピット、快適なキャビン、魅力的なデザインの実現を目指したモジュールです。



次世代のコックピットモジュール

■ 第64回自動車技術会賞「技術開発賞」を受賞

インストルメントパネル（インパネ）は一番大きな内装部品で、視認性確保だけでなく、高級感も要求されます。軟質パット付きインパネの材料や製造技術には、素材が高価で製造に手間がかかり、製品にならない部分の廃棄物が大量に発生するなどの問題がありました。5月に受賞した工法は、最も汎用的な射出成形を用いて、超薄肉のインパネ表皮を短時間で効率的に製造する技術の実用化に成功したものです。低コスト化や廃棄物削減が可能であり、実用的な技術として高く評価されました。



受賞技術を用いた製品

■ 「キッズエンジニア2014」に参加

7月に横浜で開催された「キッズエンジニア2014」に今年も参加しました。今回は「クルマとファンと、時々かざぐるま」と題し、ファンの実験や手作り風車、ミニカー製作の体験を通じ、たくさんの子供たちに楽しみながらクルマの構成部品に興味を持ってもらいました。そしてこの体験が、子供たちの印象に残ったプログラムの第1位に選ばれました。

また、さいたま市や佐野市において「風の働き」をテーマにした理科の特別授業を行うなど、子供たちにクルマの技術に触れる機会を提供させていただいております。



ファンの風力実験

■ ワークスペース・チャージングを導入

4月から、従業員の電気自動車を勤務時間中に充電することが出来る制度を導入し、通勤によって発生する排気ガスを抑制する活動を推進しています。また、併せて社用車の多くを電気自動車に変更し、二酸化炭素の排出量削減にプラスとなる活動も行っています。



研究開発センター・本社での充電風景

株式の状況

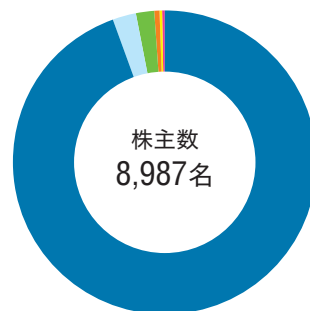
発行可能株式総数 600,000,000株
 発行済株式の総数 273,241,631株
 (自己株式5,316,957株を含む)
 株主数 8,987名 (前期末比550名減)

大株主

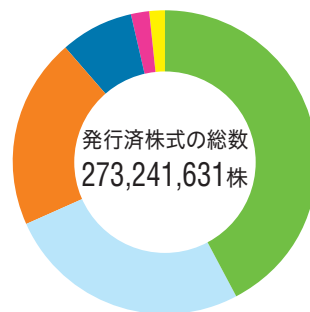
株主名	持株数	持株比率
	(千株)	(%)
日産自動車株式会社	111,163	41.5
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE 15PCT TREATY ACCOUNT	11,519	4.3
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	8,161	3.0
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	7,496	2.8
全国共済農業協同組合連合会	7,304	2.7
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	5,578	2.1
日本生命保険相互会社	5,462	2.0
カルソニックカンセイ取引先持株会	2,449	0.9
MSIP CLIENT SECURITIES	2,309	0.9
ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ ロンドン エス エル オムコパス アカウ	2,259	0.8

(注) 1. 株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
 2. 持株比率は自己株式を除いて計算しております。
 3. 当社は自己株式5,316千株を保有しておりますが、上記大株主から除外しております。

株式分布状況



個人・その他	8,492名 (94.49%)
外国人	243名 (2.70%)
その他国内法人	165名 (1.84%)
金融機関	46名 (0.51%)
証券会社	40名 (0.45%)
自己名義株式	1名 (0.01%)



その他国内法人	115,592,982株 (42.30%)
外国人	71,183,193株 (26.05%)
金融機関	55,387,742株 (20.27%)
個人・その他	21,449,110株 (7.85%)
自己名義株式	5,316,957株 (1.95%)
証券会社	4,311,647株 (1.58%)

会社の概要

商号 カルソニックカンセイ株式会社
設立 昭和13年8月25日
資本金 41,456,240,645円(平成26年9月30日現在)
主要製品 コックピットモジュール、フロントエンドモジュール、
エキゾーストシステム、エアコンユニット、
コンプレッサー、インストルメントパネル、
メーター、電子部品、ラジエーター、コンデンサー、
マフラー、コンバーター 他

取締役および監査役

取締役会長	中村 克己	監査役(常勤)	根岸 一郎
代表取締役社長	森谷 弘史	監査役(常勤)	安達 凡考
代表取締役	真行寺 茂夫	監査役	佐藤 伸悟
取締役	柿沢 誠一	監査役	宇敷 昭
取締役	藤崎 彰		

(注) 監査役 根岸 一郎、宇敷 昭は、社外監査役であります。

事業所

研究開発センター・本社	〒331-8501	埼玉県さいたま市北区日進町二丁目1917番地	☎ 048-660-2111 (代)
群馬工場	〒370-0612	群馬県邑楽郡邑楽町新中野132番地	☎ 0276-88-9101 (代)
児玉工場	〒367-0206	埼玉県本庄市児玉町共栄540番7号	☎ 0495-72-4321 (代)
吉見工場	〒355-0153	埼玉県比企郡吉見町大字久米田628番地	☎ 0493-54-2241 (代)
生産技術センター	〒355-0153	埼玉県比企郡吉見町大字久米田628番地	☎ 0493-54-8200 (代)
追浜工場	〒237-0061	神奈川県横須賀市夏島町18番地	☎ 046-865-8171 (代)
実験研究センター	〒327-0816	栃木県佐野市栄町8番地	☎ 0283-21-8001 (代)
佐野事務所	〒327-0816	栃木県佐野市栄町8番地	☎ 0283-21-8145 (代)
宇都宮事務所	〒321-3231	栃木県宇都宮市清原工業団地11番6	☎ 028-667-6684 (代)
浜松事務所	〒430-0928	静岡県浜松市中区板屋町110番5 浜松第一生命日通ビル3F	☎ 053-458-7745 (代)
名古屋事務所	〒446-0056	愛知県安城市三河安城町一丁目9番地2 第二東祥ビル3F-D	☎ 0566-88-0151 (代)
倉敷事務所	〒710-0821	岡山県倉敷市川西町十丁目2番地 倉敷川西町RGBビル4F	☎ 086-488-0001 (代)
広島事務所	〒732-0802	広島県広島市南区大洲四丁目9番15号 マツダ興産第一ビル7F	☎ 082-281-9878 (代)

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 6月
基準日 定時株主総会・期末配当：3月31日
中間配当：9月30日
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
郵便物発送先(電話照会先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-782-031(フリーダイヤル)
取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。
単元株式数 1,000株
証券コード 7248
公告方法 電子公告により行います。
公告掲載ホームページ
<http://www.calsonickansei.co.jp/>
但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

「配当金計算書」について

配当金支払いの際にご送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。
なお、配当金領収証にて配当金をお受け取りの株主様につきましても、配当金支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。
*確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。